

## 研究成果最適展開支援事業 (A-STEP) FS ステージ (シーズ顕在化) 事後評価報告書

プロジェクトリーダー (企業責任者) : (株) DNAチップ研究所

研究責任者 : 金沢大学 金子 周一

研究開発課題名 : 体調の変化と免疫系の変動:微細炎症と年齢

### 1. 研究開発の目的

我々の体調をリアルタイムで反映する免疫系のRNAを調べることにより、長寿科学、健康科学、発症前診断などに貢献する方法論、技術を確立し有用なデータベースを作成する。

### 2. 研究開発の概要

#### ①成果

我々の体調を時々刻々反映している免疫系を調べることにより、長寿科学、健康科学、発症前診断などに活用するために、多数例について末梢血を採取し医療情報と統合しつつ白血球のRNA解析を実行する方法論を確立し、同時に上掲目的に有用なバイオマーカーを抽出し評価を行った。

#### ②今後の展開

より大規模なデータ収集とそれに基づく健康科学の基礎となるコンセプト技術開発を、数年単位の支援を受けて実施したい。そして定期的に行われる健康診断に免疫系RNAを調べる項目を入れることができるようにコンテンツを進化させ、低侵襲かつ安価のサービス形態を開発し、個々のヒトの生理的状況の把握とその人の将来予測、更に今後必要に応じて行われるべき発症前生活指導に役立つ情報を提供していきたい。

### 3. 総合所見

概ね期待通りの成果が得られ、イノベーション創出が期待される。データの解析がなされ、複数のマーカーが同定された点が評価できる。今後、新規サービスとしての実用化を図るためには、データの収集が進み、免疫学と健康科学とを関連付けるコンセプトが確立されることが期待される。